

会 議 録

名 称	平成27年度 目黒区廃棄物減量等推進審議会（第1回）
日 時	平成27年6月3日（水）午後3時～午後4時まで
会 場	目黒区総合庁舎本館1階 E会議室
出席委員 (敬称略)	安井、庄司、小林、川原、松嶋、西崎、原、小川、谷田、大竹、官林、檜山、工藤
区側職員	荒牧環境清掃部長、織田清掃リサイクル課長、石田環境保全課長、伊藤清掃事務所長
傍 聴 者	0名
配布資料	資料1 第7期目黒区廃棄物減量等推進審議会委員名簿 資料2 答申「2100年を視野に入れた快適で誇りのもてる循環型のまちめぐろへの提言～」 資料3 主な修正一覧
会議次第	<p>1. 開 会 20人中、出席者は13人であり、半数以上の出席があるため定足数を満たしており、会は成立する。</p> <p>2. 新委員の紹介・区側職員の紹介 リ課長 （資料1により紹介）</p> <p>3. 議題 以下、発言者名・名称は下記のとおり表記する。 環境清掃部長・・・・・・・・・・部 長 清掃リサイクル課長・・・・・・リ課長 清掃事務所長・・・・・・・・・・事務所長 環境保全課長・・・・・・・・・・環課長</p> <p><報告事項> (1) 区長への答申提出について リ課長 （資料2・3により説明） 会 長 答申には、審議会が出た多くの意見すべてが盛り込まれているわけではない。今までの審議会の議論については、事務局で議事録を取っているので、今後、一般廃棄物処理基本計画の改定作業の中で、反映できるものはしてほしい。また、来年度以降の事業の中でも、可能な限り審議会の意見を生かしてほしい。何人かの委員は退任することになるが、今後もウォッチを続けてほしい。 委 員 答申に書ききれなかった点も多々あるが、今後の廃棄物処理行政の課題解決のきっかけになる答申になった。 会 長 答申は、「大風呂敷」というイメージをもたれるかもしれないが、最終処分場の残余年数が50年ということは、今世紀中は保たないということである。そのため、「2100年」を入れている。多摩地域はエコセメントで最終処分量の減量を図っているため数百年使えるが、いずれにしても最後の最終処分場であろう。ごみ減量のため、家庭ごみの有料化が必要になるが、目黒区単独での導入は現実的ではなく、23区共同での導入が必要になる。 東京都の廃棄物審議会の委員に就任したので、その場で目黒区の答申の話をしようと思っている。 答申を承認していただきたい。 一 同 （異議なし）</p>

<p>会 長 以上で本日の審議を終了する。</p> <p>4. その他</p> <p>会 長 本日の審議会は第7期の最終回になる。委員から、この第7期審議会の感想をいただきたい。</p> <p>委 員 (委員全員からひとこと)</p> <p>5. 閉会</p> <p>※このあと別室で会長と副会長が区長に答申</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
--